

私を日本人と認めてほしい！——フィリピン残留日本人

フィリピンには太平洋戦争以前、3万人を擁する豊かな日本人移民社会が存在した。敗戦を境に日本人の父親と生き別れたことから今も無国籍状態に置かれているフィリピン残留日本人2世たちがいる。



私は日本人。でも言葉がわからないの！——中国残留孤児

中国東北部の日本の植民地・満州国に敗戦を機に置き去りにされた子どもたち。戦後30余年を経て日本に帰国するも、言葉の壁による差別と貧困の果てに日本政府を訴えた中国残留孤児たちがいる。



映画は2つの国の残留者たち、そして、彼らを救おうとする市民たちの活躍を描きながら、私たちが生きる「日本という国の今」を浮き彫りにしてゆく。

国民の保護者である国家には、残留者たちに果たすべき使命がある。

戦後75年目。日本政府は救済に動き出すのか——！?

トーク登壇者



おばら ひろやす
監督:小原浩靖

TV-CMを中心に企業プロモーションなどの映像広告を手がけ、作品数は700本を超える。主な作品はキャノン総合企業映画「伝えあい、わかちあい、響きあうために」(映文連部門賞)、ASTEL九州シリーズ(広告電通賞)、サントリー「極の青汁(シリーズ)」、「横綱白鵬翔 上昇への挑戦(TVドキュメンタリー)」、三代目魚武濱田成夫MV「ファイト!」。『日本人の忘れもの フィリピンと中国の残留邦人』は劇場用映画第一作目。現在、第二作となる劇映画を準備している。

タイム・テーブル

13:00 - 上映開始

上映後休憩

15:00 - 監督トーク

16:00 - 終了予定

脚本・監督:小原浩靖 | 撮影:はやしまこと | 音楽:吉野裕司 | 企画・製作:河合弘之 (2020年/日本/ドキュメンタリー/カラー/98分/製作・配給:Kプロジェクト/©Kプロジェクト)

お申込み方法

▶メール fukyu_joho@tokyo-jinken.or.jp

以下の項目を明記のうえ、お申し込みください。

- ①氏名 ②参加人数 ③電話番号 ④メールアドレス ⑤住所(参加券を送付します)
⑥障害等によって必要な配慮の有無(車いす・手話など) ⑦託児の希望有無

▶電話 03-6722-0085 (月～土曜日 9:00～17:45 / 留守番電話でのお申し込みはできません。)

「映画会の申し込み」の旨をお伝えください。



会場：中央区立日本橋公会堂ホール

- 東京メトロ
半蔵門線「水天宮前」駅
6番出口から徒歩2分
日比谷線「人形町」駅
A2出口から徒歩5分
東西線「茅場町」駅
4-a出口から徒歩10分
 - 都営地下鉄
浅草線「人形町」駅
A3・A5番出口から徒歩7分
 - 中央区コミュニティバス(江戸バス)
北循環25「日本橋区民センター」 下車0分
- ※ホール(観客)の駐車場はございません。
お車でのご来場はご遠慮ください。